

回答書

令和7年度DX実践人材育成講座実施業務に係る質問について、以下のとおり回答します。

	資料該当箇所	質問事項	回答
1	(別紙1)仕様書 4(2)DX実践人材育成講座の実施・運営に関すること エ 実施スケジュール等	「(ア)アの実施内容を、全6回以上の講座で実施することとし、1回あたり90分以上かつ全体で10時間以上とすること。」の捉え方について教えてください。 例えば、以下のような捉え方で違和感ないでしょうか。 ・(ア)知識習得講座の実施のタイムスケジュール内で基礎編・応用編が存在する場合にはそれぞれが90分以上の場合には2回の計算で問題ない ・(イ)フィールドワーク(エ)発表会についても90分以上で実施する場合には1回というカウント	お見込みのとおりです。
2	(別紙1)仕様書 4(2)DX実践人材育成講座の実施・運営に関すること ウ 受講定員	仕様書：「(2)DX 実践人材育成講座の実施・運営に関すること ウ 受講定員」について 「20名以上(最大15社まで)とすること。」と指定がございます。 最低の社数設定はございますでしょうか。	最低の参加社数は設定しておりませんが、想定としては10社程度(1社あたり1～2名参加)を見込んでおります。
3	プロポーザル実施要領 8 審査会	「鳥取県の地内又はオンラインによる。」と指定がございます。 参加上限人数の指定はございますでしょうか。	参加上限人数は設定しておりませんが、1提案者あたり4名程度を想定しております。
4	(別紙1)仕様書 4(2)DX実践人材育成講座の実施・運営に関すること ア 実施内容	(イ)フィールドワークの実施 「DX推進企業の見学」に関して、フィールドワーク先の候補企業のリストアップから調整等一切を受注者が行う、という認識でよろしいでしょうか。	原則、お見込みのとおりですが、フィールドワークで企業訪問を行う場合、ご提案いただいた内容をもとに、発注者からも企業情報を提供し、協議のうえ訪問企業を決定することを考えています。
5	(別紙1)仕様書 4(2)DX実践人材育成講座の実施・運営に関すること	各講座等実施に際し、会場の費用は事業者負担でしょうか。あるいは貴庁や貴庁施設をお借りすることを相談させていただけるのでしょうか。	会場の費用は、受注者負担となります。
6	(別紙1)仕様書 4(2)DX実践人材育成講座の実施・運営に関すること	各講座等実施に際し、使用が予想される機器(マイク、モニター、延長コード等)は貴庁からお借りすることはできる/貸借を相談できるのでしょうか。	講座等実施に必要な機器(マイク、モニター、延長コード、プロジェクター、スクリーン等)は、受注者にてご用意ください。 なお、演習等でパソコンを使用する場合に、受注者にて用意いただくか参加者に持参いただくかは、受注者決定後に協議させていただくことを考えております。

	資料該当箇所	質問事項	回答
7	(別紙1)仕様書 4(2)DX実践人材育成講座の実施・運営に関すること ア 実施内容	(エ) 成果発表会の開催に際し、最低参加数等の指定はありますでしょうか。	最低参加者数は設定しておりません。
8	(別紙1)仕様書 4(1)DX実践人材育成講座の企画に関すること	受講者がDXも基礎から段階的に学びと記載御座いますが、ここでの段階的のことは本事業を通しての意味合いで認識相違御座いませんか。	お見込みのとおりです。
9	—	過年度の本事業の運営にあたり、課題となった点などはございますでしょうか。(集客、運営など)	これまでの実施内容やアンケート結果等から以下の課題を認識しております。 ・集客(申込が少ない) ・受講率(年末年始、年度末の繁忙期になると参加者の受講率が低下する) ・講座の内容(ペースが速い、作成資料が多い、汎用的ではなく個別具体のフィードバックが欲しい等の意見)
10	—	参加した企業の方の業種の割合はどのようになっていますでしょうか。各業種ごとの割合をご教授いただければ幸いです。	過去実施した同事業におけるおおよその業種内訳は以下のとおりです。 ・製造業 39% ・観光・サービス業 22% ・情報通信業 17% ・その他(食品加工、卸、建設、コンサルティング等) 22%